



授業参観を通して

協議会に先立ち、通級指導を中心とした授業参観を行いました。4年次の生徒と、初めて「お試し通級」を行う1年次の生徒の取組を見学していただき、それぞれの活動の意味や効果、アセスメントの視点について考えていただきました。また、授業のユニバーサルデザイン(UD)化や、日本語指導を受けている生徒が一斉授業に参加する様子など、本校の特色ある授業の取組もご覧いただきました。

協議会では、本校の現状を踏まえ、教員の負担軽減や、専門的知識を有する教員の質的・量的な確保について、学校運営協議会として県教育委員会へ具申することが了承されました。

実践状況報告

前回提案した「出張居場所カフェ」の開催が、8月30日(土)のひらかわフェスタで実現しました。当日は、生徒たちが地域の方々と積極的に関わり、子どもたちが通級指導時間に準備した玩具を使って楽しそうに遊ぶ様子が報告されました。自分ができること誰かの役に立つという経験を通して、生徒の自己有用感が高まり、社会とのつながりを持つ良いきっかけとなったと評価されました。

また、9月30日(火)には、教員を対象とした就労移行支援事業所の見学会を実施します。今回は、本校での勤務年数が浅い教員を中心に参加を募り、社会資源としての事業所の機能を理解し、生徒や保護者に対して進路選択の一つとして提案できるようになることが期待されています。

これからの取組について

今後の計画として、子ども食堂での生徒によるボランティア活動や、委員と通級指導を経験した生徒とのインタビューの実施が提案されました。委員の皆さまからは多くの肯定的なご意見と具体的な助言をいただきました。

年度末に向けて、熟議テーマに関わる課題の掘り起こしを進めながら、本校の特別支援教育的視点による指導システムの構築を継続していきます。

第3回学校運営協議会は、令和8年2月3日(火)を予定しています。

